大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみ

令和２年度 第７２号
令和３年３月１０日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

２年生「楽しかったよ、ベスト３」

２年生一人一人が、今年楽しかった３つを選び、絵作文にして掲示（教室や廊下）しています。お兄さん、お姉さんになった今年度は、２年生にとってどんな１年間だったのでしょうか。

写真は、藤村侑芽(ゆめ)さんの掲示です。ベスト３は、「うさぎのモフとモコにえさをやったこと」「大森山動物園で１年生を案内したこと」「マラソン大会で２位になったこと」でした。この３つから、たくさんの成長の様子をうかがい知ることができます。４月からは３年生の２８人。１階のリーダーとして、仲間と協力し張り切ってがんばってくれるものと期待しています。

震災から１０年

１０年は長かったような、短かったような。今もって、あの時の恐怖を忘れることができません。被害が少なかった本県で、今私たちができることはなんでしょうか。それは、亡くなられた皆様のご冥福を祈ること、地震の怖さを伝えること、万が一の備えを進めることだと思います。

３月１１日午後２時４６分。今年もまた、あの日が訪れます。

卒業式全体練習が始まる

今週月曜日から、卒業式に参加する３年生以上（卒業生を含む）が集まり、全体での式練習が始まりました。それでも今年度は、大人数が集まる機会を減らしていますので、例年よりも遅いようです。１，２年生が参加していない式は、どことなく寂しい感じもしています。低学年の児童特有の甲高い、大きな声が聞こえてこないからです。しかし、ソーシャルディスタンスの観点から考えると、しかたがありません。このコロナ禍の状況が早く改善され、いつもの年の式が当たり前のように行うことができるようになることを願ってやみません。

在校生の歌声もよくなってきました。（マスクを着用しての歌は、声がすーっと通りにくい）心を一つにして、卒業生をていねいに祝う気持ちでいっぱいです。金曜日には予行があります。本番とまったく同じ形で実施します。本番の式には参加しない２年生が、卒業式を心と体で感じるために、特別に参加する予定です。

卒業式まで、１週間を切りました。

絆

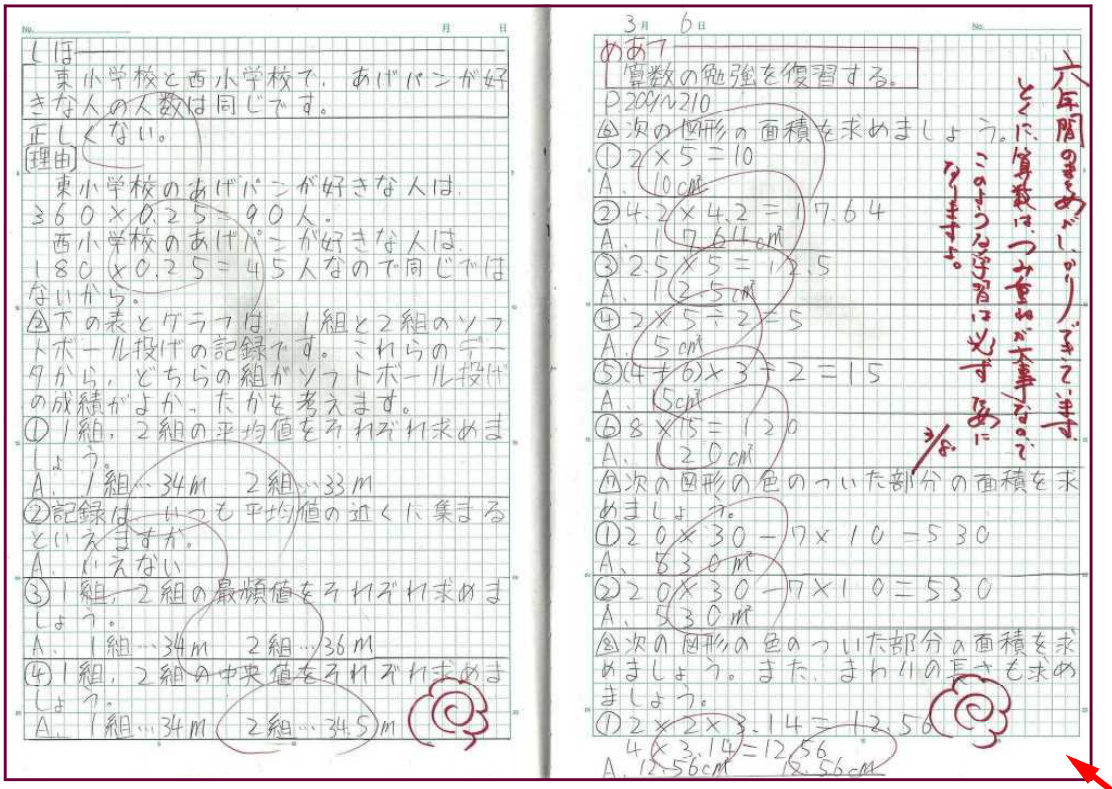
ようやく、本物の春がやってきました

長かった冬がようやく終わりです。本物の春を感じさせる天気が続いています。ロータリーなど、玄関前の雪解けがぐっと進みました。（校務員さんが融雪してくれました。）校舎の内も外も、卒業式に向かっています。

一方、グラウンドの雪はまだまだ大量です。先週、試しに掘ったところ、80cmほどもありました。今後、雪解けはどんどん進むとは思われますが、場合によっては機械を入れて融雪を進める必要があるかもしれません。

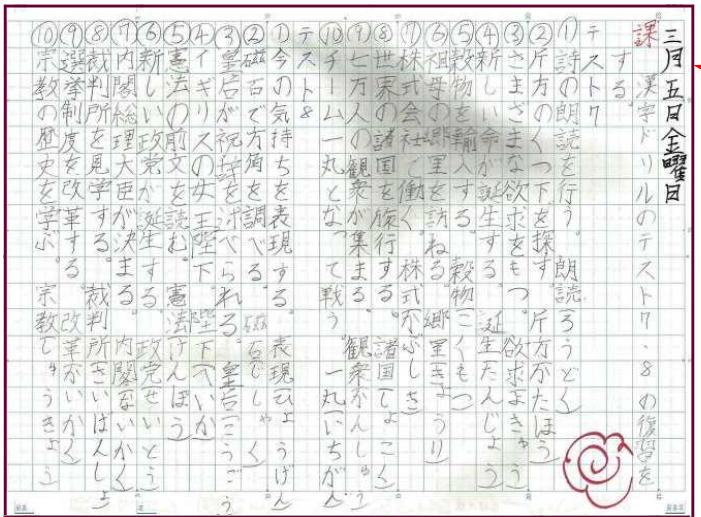
※四月二十九日には運動会を予定していることから、遅くとも四月半ばまでにはどうかしたいと思っています。

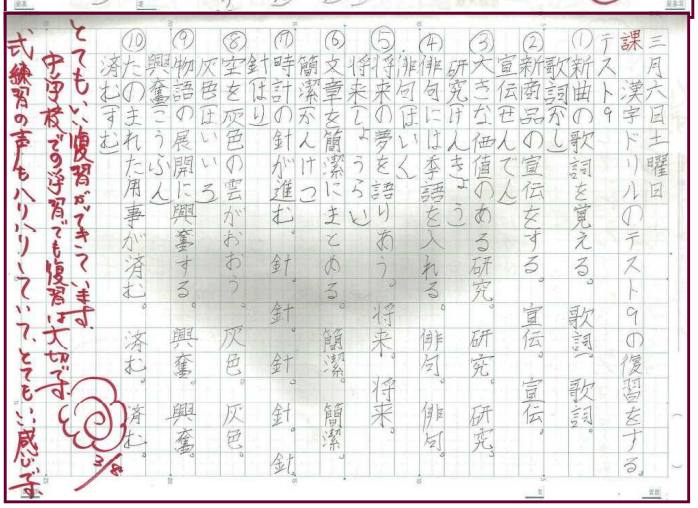
＜一人勉強ノートの紹介＞



六年　森川奈央（なお）さんのノートです。

六年生は、二月頃から復習の学習中心になっています。奈央さんは、一人勉強ノートがスタートしたときから、一度も欠かしたことがないそうです。だからこそ、これまでの学習がしっかりと身についているのですね。





六年　冨岡誠矢（まさや）さんのノートです。

複写の関係で黒ずんだところがあり、上手な文字が見えにくくなっています（ごめんなさい）。誠矢さんもこれまで、ていねいな学習を積み上げてきました。こうした習慣が、中学校での自学自習につながっていくものと期待しています。